

I T 機器の利用が急速に拡大

～ さまざまな統計調査結果から ～

総務省統計局が行っている統計調査には、無作為抽出により選ばれた者を対象に行われる調査があり、この中には、市・区以下の地域の集計ができず、県や大都市圏の単位でしか結果が公表されないものもあります。今回は、福岡県や九州・沖縄地域などの数値から生活に関する部分をとらえることのできる統計調査結果を中心に、ご紹介します。

◇ 平成18年社会生活基本調査

～過去1年間の生活行動から～

「社会生活基本調査」は、日々の生活における「時間の過ごし方」や1年間の「余暇活動」の状況など、国民の暮らしぶりを調査し、高齢社会対策、少子化対策、男女共同参画に関する施策等の基礎資料として利用されています。昭和51年以降5年ごとに行われており、直近の調査は、平成18年10月に実施されました。調査結果は生活行動、生活時間、時間帯及び平均時刻について公表されています。また、今回調査から、独身期や子育て期など「ライフステージ」で区分した集計結果が公表されています。

今回はこの中から、生活行動に含まれている「スポーツ」、 「趣味・娯楽」及び「インターネットの利用」の、平成13年と18年の調査結果について、福岡県の行動者率を比較して見ていきます。

1. スポーツ

過去(平成17年10月20日～平成18年10月19日)1年間に何らかの「スポーツ」をした人の割合は63.7%で、前回調査(平成13年)から7.6ポ

イント低下しました。性別に見ると、男が70.5%で前回比7.9ポイントの低下、女が57.6%で同7.5ポイントの低下となりました。

また、性別ライフステージ別に見ると、学校の部活動などでスポーツをする機会の多い「教育を受けている時期」では、男の88.4%、女の80.9%がスポーツをしています。男女で大きな差が見られるのは「子育て期のひとり親」で、男が75.8%、女が49.6%と26.2ポイントの開きがあります。

スポーツの種類別に見ると、「ウォーキング・軽い体操」は男女ともに最も多くの人が行っていますが、「野球(キャッチボールを

表1 福岡県の男

種 類	平成13年		
	総数	男	女
10歳以上推定人口(千人)	4 436	2 097	27 339
(ス ポ ー ツ)			
総 数	71.3	78.4	65.1
野球(含 キャッチボール)	10.9	20.1	2.7
ゴルフ(含 練習場)	10.2	18.9	2.3
ボウリング	25.2	29.6	21.2
つ り	14.1	23.6	5.6
水 泳	18.2	20.0	16.5
登山・ハイキング	…	…	…
サイクリング	…	…	…
ジョギング・マラソン	11.9	15.3	8.8
ウォーキング・軽い体操	43.0	40.2	45.5
器具を使ったトレーニング	…	…	…
(趣 味・娯 楽)			
総 数	87.5	87.5	87.5
スポーツ観覧(除 TV・DVD等)	24.9	29.0	21.2
映画鑑賞(除 TV・DVD等)	38.9	35.0	42.4
CD等による音楽鑑賞	…	…	…
DVD等による映画鑑賞	…	…	…
園芸・庭いじり・ガーデニング	33.3	26.3	39.5
写真の撮影・プリント	…	…	…
趣味としての読書	45.4	40.9	49.4
カラオケ	38.9	40.1	37.7
テレビゲーム、パソコンゲーム	29.0	37.3	21.5
遊園地、動植物園等の見物	…	…	…
(インターネットの利用)			
総 数	43.7	48.3	39.6
電子メール	…	…	…
掲示板・チャット	…	…	…
ホームページ、ブログの開設・更新	…	…	…
情報検索及びニュース等の情報入手	…	…	…
画像・音楽データ等の入手	…	…	…
商品等の予約・購入、支払	…	…	…
その他	…	…	…

「ライフステージ」について

この調査における「ライフステージ」は次のように区分されています。

「教育を受けている時期」…同一世帯内に子供、配偶者のいない在学中の者(10歳以上30歳未満)。小学生、中学生、高校生など

「独身期」…同一世帯内に子供、配偶者のいない者

「子供のいない夫・妻」…同一世帯内に子供はいないが、配偶者のいる者

「子育て期の夫・妻」…同一世帯内に配偶者と30歳未満の無業の子供がいる者

「子育て期のひとり親」…同一世帯内に30歳未満の無業の子がおり、配偶者がいない者

「子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居の夫・妻」…同一世帯内に30歳未満の無業の子はいないが、その他の子供がおり、配偶者がいる者

「子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居のひとり親」…同一世帯内に30歳未満の無業の子はいないが、その他の子供がおり、配偶者がいない者

※「子供」には実子のほか、子の配偶者や配偶者の子を含む。

含む)」や「ゴルフ(含 練習場)」は、行った割合が男性で多く、女性で少ない結果となっています。

2. 趣味・娯楽

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」をした人の割合は84.8%で、前回調査から3.2ポイント低下しました。性別では、男が85.3%で前回比2.2ポイントの低下、女が83.3%で同4.2ポイントの低下となりました。

趣味・娯楽の種類別に見ると、「CD等による音楽鑑賞」が全体で51.2%と最も多くなりました。

ライフステージ別に見た場合、スポーツ同様「教育を受けている時期」に最も割合が高くなっています。また、「写真の撮影・プリント」と「遊園地・動物園等の見物」は、男女とも「子育て期の夫・妻」の割合が、他の

ライフステージよりも高くなっています。

3. インターネットの利用

過去1年間に「インターネットの利用」をした人の割合は57.3%で、前回調査から13.6ポイント上昇しました。種類別に見ると、「電子メール」の利用が最も多く、「情報検索及びニュース等の情報入手」がこれに続きます。「情報検索及びニュース等の情報入手」は、男女とも「教育を受けている時期」と「子育て期の夫・妻」の半数以上が利用しています。

「平成18年社会生活基本調査」では、生活行動について今回紹介した3分野のほか、「学習・研究」「ボランティア活動」「旅行・行楽」の各分野について、都道府県単位の統計表が公表されています。

女、ライフステージ別行動者数及び行動者率(平成13年・平成18年)

平成18年																		
総数	男									女								
	総数	ライフステージ別								総数	ライフステージ別							
		教育を受けている時期	独身期	子供のいない夫・妻	子育て期の夫・妻	子育て期のひとり親	子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居の夫・妻	子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居のひとり親	教育を受けている時期		独身期	子供のいない夫・妻	子育て期の夫・妻	子育て期のひとり親	子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居の夫・妻	子供(無業の30歳未満の子供以外)と同居のひとり親		
4 454	2 100	279	528	461	473	16	244	30	2 353	260	616	464	446	61	248	187		
63.7	70.5	88.4	66.0	69.1	73.1	75.8	63.4	24.5	57.6	80.9	57.1	56.0	60.1	49.6	47.7	36.1		
9.4	15.9	38.9	13.4	5.3	23.0	10.4	4.0	-	3.5	8.5	3.5	0.5	7.7	3.0	-	-		
8.5	15.1	5.4	13.4	18.0	19.9	3.9	14.2	4.7	2.6	2.5	2.6	2.7	3.1	7.8	1.0	0.7		
19.8	23.4	47.8	25.8	11.6	27.4	10.8	8.5	-	16.6	31.6	23.8	6.5	19.4	18.8	6.6	2.3		
8.3	13.7	18.3	10.1	12.3	16.6	9.6	15.7	4.3	3.6	6.8	3.2	3.4	5.1	7.5	0.7	0.5		
12.3	14.1	39.4	9.2	4.6	19.9	34.1	3.5	-	10.7	32.5	8.8	7.3	11.1	8.3	4.9	3.0		
7.6	7.8	8.0	4.0	11.6	8.1	5.8	9.5	6.9	7.4	9.0	9.8	7.7	6.9	5.9	5.5	2.1		
7.7	8.6	12.8	10.8	4.6	11.2	-	3.0	-	6.8	13.2	7.5	3.3	9.2	4.6	2.1	4.6		
8.1	10.8	22.6	7.7	8.8	13.5	-	5.2	-	5.8	16.5	6.1	3.1	4.9	1.8	4.3	1.6		
35.3	31.0	24.1	23.9	43.8	29.1	23.7	36.1	12.9	39.2	29.4	40.7	44.9	43.3	31.3	37.9	25.5		
12.0	12.1	17.3	11.1	10.7	14.3	35.4	5.4	-	12.0	13.7	16.1	9.0	12.1	7.3	11.6	4.5		
84.3	85.3	94.4	84.7	80.2	89.0	94.2	81.9	60.0	83.3	92.0	85.3	79.8	90.5	74.8	81.4	60.9		
26.0	30.1	40.2	23.7	27.4	36.2	32.9	27.4	13.2	22.4	26.8	23.9	18.1	30.5	16.4	19.9	7.5		
38.0	35.0	58.0	36.1	28.2	35.6	52.3	22.3	4.3	40.7	59.0	49.5	33.4	41.3	47.8	32.3	11.2		
51.2	49.5	70.7	55.8	33.9	59.9	72.5	24.6	14.7	52.8	76.2	59.9	37.5	69.5	56.7	34.6	17.5		
46.5	47.9	70.5	51.6	27.8	64.0	81.1	21.9	17.8	45.2	66.7	47.7	28.5	67.2	56.4	28.8	18.0		
25.3	18.3	2.0	6.0	30.6	22.0	18.5	35.8	10.0	31.5	7.1	20.6	43.9	36.4	28.6	53.5	29.4		
26.0	23.7	18.5	14.3	23.6	40.5	9.2	19.9	12.3	28.0	28.5	33.3	16.9	48.8	38.2	13.5	6.7		
40.1	34.9	49.2	31.5	35.4	36.8	54.8	23.4	16.5	44.8	61.4	48.7	39.3	53.9	43.5	31.8	22.2		
33.3	33.6	47.0	40.2	25.0	39.2	60.9	14.4	1.8	33.0	53.0	42.5	24.8	30.6	40.4	18.9	15.6		
32.0	37.7	79.3	41.2	19.0	42.9	22.4	11.8	7.2	26.9	61.5	28.0	16.7	36.1	26.8	8.0	2.1		
31.6	27.8	36.7	15.3	22.0	51.0	18.3	15.4	4.0	34.9	37.8	33.2	28.6	55.9	42.9	21.9	16.4		
57.3	59.0	76.8	64.3	38.8	78.0	78.3	34.6	13.2	55.8	82.8	59.3	38.8	81.8	63.8	35.3	11.1		
47.4	47.7	59.3	53.8	30.2	65.5	73.8	28.1	9.5	47.2	68.0	52.3	33.3	69.6	52.1	25.9	9.2		
11.9	13.4	24.6	22.6	6.4	10.8	-	2.9	4.7	10.5	33.5	14.3	3.4	9.7	5.1	0.9	0.5		
6.3	5.9	10.7	9.0	1.8	5.3	-	2.6	4.7	6.7	20.3	8.9	1.7	6.5	5.1	1.7	0.5		
40.0	44.8	51.9	49.5	28.0	65.2	61.6	22.5	10.7	35.8	53.5	45.4	21.2	51.9	42.2	14.6	3.0		
25.9	29.1	43.5	36.9	15.3	38.8	22.8	8.4	-	23.0	51.0	30.5	10.1	29.7	16.6	5.2	1.5		
20.5	22.5	21.0	27.8	15.5	30.9	39.9	13.4	-	18.7	18.7	25.9	10.0	30.8	26.7	5.5	0.9		
16.3	17.3	22.9	22.5	9.8	22.7	14.4	5.8	2.5	15.3	28.7	19.2	9.2	20.6	19.4	4.1	1.0		

◇ 家計消費状況調査

～ I T 関連の消費から～

「家計消費状況調査」は、家計において購入頻度が少ない高額商品・サービスなどの消費の実態を把握するため、平成13年から毎月実施されています。前項でインターネットの利用についてふれましたが、I T 関連の消費についても毎月調査され、四半期ごとにまとめて公表されています。集計世帯が少ないため、「全国」値のほかは「九州・沖縄」という地方別や「大都市」などの都市階級別の数値にとどまります。

平成19年の結果を見ると、総世帯のうちインターネットが利用できる機器を保有している世帯は、全国では62.1%、九州・沖縄では50.2%、人口100万人以上の大都市では67.0%となっています。インターネットが利用できる機器は「携帯電話機」と「パソコン」が大きな割合を占めますが、利用時間が最も長い機器に限ると、パソコンが大きな割合を占めています。

インターネットの用途別利用状況を見ると、主にホームページ閲覧などによる情報収集や電子メールが大きな割合を占めています。また、

インターネットショッピングや各種予約などの利用も、これに次いで大きくなっています。

インターネットの利用に関しては、九州・沖縄地方は全国と比較して、利用している割合が低い傾向にあります。

図 インターネットを利用した世帯員がいる世帯の割合

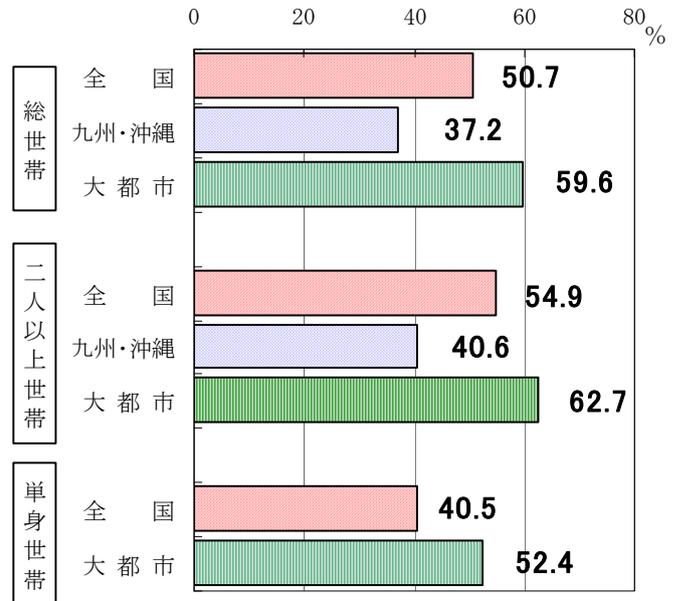


表2 情報技術(I T)関連の機器の保有・利用状況及びインターネットの利用状況

項目	(単位: %)							
	総世帯			二人以上世帯			単身世帯	
	全国	九州・沖縄	大都市	全国	九州・沖縄	大都市	全国	大都市
集計世帯数(世帯)	1 931	225	462	1 747	202	413	184	49
(インターネットが利用できる機器の保有について)								
インターネットが利用できる機器を保有している世帯	62.1	50.2	67.0	67.5	54.4	71.8	49.0	56.2
携帯電話機(携帯電話・PHS)	45.9	34.3	51.1	48.3	35.8	51.7	39.8	49.0
パソコン	53.5	40.3	60.5	60.4	45.9	66.4	37.0	47.8
携帯情報端末(PDA)	1.9	1.3	2.3	2.2	1.0	2.6	1.1	1.8
テレビゲーム機	6.3	2.5	8.2	7.2	3.3	8.6	4.0	7.3
テレビ	7.6	4.8	8.0	8.4	5.5	9.0	5.7	6.0
固定電話機	7.1	5.0	6.9	8.2	5.1	8.7	4.5	3.1
その他	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
(インターネットが利用できる機器を保有している世帯のうち世帯全体での利用時間が最も長いもの)								
携帯電話機(携帯電話・PHS)	9.7	8.0	9.3	9.1	7.5	8.1	10.9	11.8
パソコン	42.4	31.7	50.3	47.4	35.5	55.5	30.2	38.7
インターネットが利用できる機器を保有していない世帯	36.5	47.5	32.0	31.3	43.7	27.3	49.2	42.7
インターネットを利用した世帯員がいる	50.7	37.2	59.6	54.9	40.6	62.7	40.5	52.4
インターネット用途別利用状況								
インターネットショッピング	19.9	12.5	26.0	21.3	15.4	26.5	16.6	24.8
各種予約(交通機関、宿泊施設、コンサートなど)	12.7	7.2	18.0	13.7	7.6	18.6	10.4	17.0
銀行取引	6.5	3.2	10.7	6.2	2.2	9.8	7.3	12.7
金融商品の取引(有価証券、保険など)	3.5	1.8	4.7	3.8	1.8	5.1	2.7	3.6
個人のホームページの維持・管理	5.2	4.0	6.9	5.3	3.7	6.5	5.2	7.6
情報収集(ホームページの閲覧など)	43.3	31.6	53.2	47.0	34.2	55.1	34.4	48.5
オンラインゲーム	6.9	5.8	8.4	8.1	6.9	9.2	4.1	6.7
懸賞の応募	4.5	2.9	5.7	5.0	3.4	6.7	3.4	3.6
電子メール	28.4	17.7	37.2	29.9	18.1	37.7	24.9	35.7
その他	1.2	1.2	1.5	1.4	0.9	1.7	0.8	1.2

◇ 全国消費実態調査

～主要耐久消費財等に関する事項から～

「全国消費実態調査」では、毎月実施している家計調査の内容を、より詳しく、より多くの世帯を対象として行うことで、収入階級別や世帯主の年齢階級別など、家計の実態について詳細な構造を分析することができます。

この調査は5年ごとに実施していますが、今回は直近の調査である平成16年の調査結果から、耐久消費財の普及率について福岡市の値を全国と福岡県の値と比較しながら見ていきます。

設備器具や一般家具については、住宅の事情による要素もありますが、福岡市では各品目で全国や福岡県の平均を下回っています。冷暖房用器具ではルームエアコンの普及率が全国や福岡県と比べて高い一方で、電気こたつは低くなっています。

自動車の普及率が全国や福岡県と比べて低くなっていますが、他の政令市と比較すると、平均的な値です。オートバイ・スクーターの普及率は、全国や福岡県より高くなっており、政令市の中でも比較的高い値となっています。

IT化の現状把握に利用されるパソコンの普及率は、全世帯平均で福岡県を年次的に追うと、平成6年は14.6%であったのが、平成11年では31.9%、平成16年では65.1%と、急

速に伸びていることがわかります。また、全国でも同じ傾向が見られます。

◇ ◇ ◇

今回紹介した統計調査には、掲載した統計表のほかにも多くの統計表が提供されています。各統計調査の特徴や、利用にあたって注意すべきところを踏まえて、各調査を横断的に見ていくこともできますので、積極的にご利用ください。

(今回使用したデータが掲載されているホームページ)

- ・ 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>
社会生活基本調査……「文化・科学技術に関する統計」
家計消費状況調査・全国消費実態調査
……「家計に関する統計」
(一部は福岡市ホームページの統計情報にも掲載しています)

表3 地域別主要耐久消費財普及率

(単位 %)

耐 久 消 費 財 品 目	全世帯平均			勤労者世帯平均		
	全 国	福 岡 県	福 岡 市	全 国	福 岡 県	福 岡 市
集 計 世 帯 数 (世 帯)	54 101	1 748	347 31	459	986	205
設 備 器 具						
シ ス テ ム キ ッ チ ン	56.8	51.1	42.1	56.4	49.6	38.7
太 陽 熱 温 水 器	9.1	12.2	5.1	7.6	9.3	1.5
給 湯 器 (ガス瞬間湯沸器を除く)	57.6	53.1	42.1	56.2	49.1	35.1
洗 髪 洗 面 化 粧 台	63.3	58.1	46.3	62.2	58.1	42.7
温 水 洗 浄 便 座	59.1	51.0	41.7	55.7	46.5	33.0
家 庭 用 耐 久 財 財						
家 事 用 耐 久 財 機	19.1	16.6	13.6	20.4	17.2	13.3
食 器 洗 い シ ン	67.1	62.6	62.4	69.2	67.2	67.7
冷 暖 房 用 器 具						
ル ー ム エ ア コ ン	86.9	94.4	95.0	87.6	95.6	94.8
電 気 こ た つ	75.9	74.8	64.9	73.4	72.8	63.2
一 般 家 具						
サ イ ド ボ ー ド ・ リ ビ ン グ ボ ー ド	48.0	44.7	39.0	47.4	42.6	35.4
鏡 台 (ドレッサー)	69.4	70.9	62.0	67.8	69.7	56.3
応 接 セ ッ ト (3点セット以上)	26.7	25.4	19.9	21.3	19.0	11.2
応 接 用 座 卓 (食卓を除く)	39.0	44.7	36.3	33.9	37.4	28.6
室 内 装 備 ・ 装 飾 品						
じ ゅ う た ん (5万円以上のもの)	17.2	22.9	18.0	12.9	16.8	7.8
寝 具 類						
ベ ッ ド ・ ソ フ ァ ー ベ ッ ド (作り付けを除く)	62.9	65.4	59.1	64.7	68.1	56.9
交 通 ・ 通 信 等						
自 動 車	86.2	86.8	77.4	91.4	92.6	83.6
オ ー ト バ イ ・ ス ク ー タ ー	16.8	15.9	18.3	17.6	16.2	18.5
通 信 機 器						
携 帯 電 話 (PHSを含む)	84.7	81.4	80.8	94.2	92.6	92.3
フ ァ ク シ ミ リ (コピー付を含む)	51.1	46.5	48.6	52.8	48.6	50.5
教 養 娛 楽 用 耐 久 財						
ブ ラ ズ マ テ レ ビ	2.6	2.6	2.6	2.4	2.2	2.0
液 晶 テ レ ビ	7.7	5.0	5.9	7.6	5.3	6.1
カ ラ ー テ レ ビ	97.3	97.2	95.3	97.3	96.9	95.1
ステレオセット又はCD・MDラジオカセット	80.3	78.2	78.1	86.8	87.4	87.3
D V D レ コ ー ダ ー	25.6	23.8	23.3	30.2	28.8	27.9
ビ デ オ テ ー プ レ コ ー ダ ー	81.5	80.3	78.3	87.0	86.3	84.5
パ ソ コ ン	69.3	65.1	65.9	78.5	76.1	76.2
カ メ ラ (デジタルカメラを含む)	80.4	76.7	78.0	84.5	81.0	79.8
ビ デ オ カ メ ラ (デジタルを含む)	41.4	39.9	37.5	50.8	50.2	47.4
教 養 娛 楽 用 品						
ゴ ル フ 用 具 一 式 (ハーフセットを含む)	38.4	37.6	37.7	40.9	39.7	37.7